

この山に登ろう③

みせん こまがばやし
宮島弥山 535m **駒ヶ林** 509m

広島県廿日市市宮島町



洋上からの弥山(左)と駒ヶ林(右)

広島県山岳連盟 事務局長 **松島 宏**

昔から宮島といえば、日本三景のひとつ、今では世界遺産。広島に住む私にとって宮島の印象は学校の遠足で何度も訪問した観光地、厳島神社、安芸の大鳥居、紅葉饅頭、大聖院、初詣等々。歴史と観光の島ですが、一方で全山原生林に覆われた素晴らしい自然の宝庫なのです。小さい頃家族でよく弥山に登りました。弥山は標高535mと低山ですが、海拔0mからの標高差と登山道がほとんど参道の石段で、結構「きつい山」というイメージです。

2004年、中高年登山ブームの先駆けとなったNHK「中高年のための登山学」の講師、岩崎元郎氏が著書『新日本百名山』で宮島弥山を「眺望絶佳の世界遺産」として紹介しています。弥山頂上からの360度の絶景、瀬戸内の多島美はやはり魅力的です。

弥山への登山ルートは一般的なものが6コースあります。東から博打尾コース、紅葉谷コース、弥山尾根コース、大聖院コース、多宝塔コース、大元谷コースです。いわゆる





弥山尾根コース入口の茶屋



多宝塔



多宝塔コースからの眺め



駒ヶ林頂上

参道は紅葉谷、大聖院、大元谷の3コースで、すべて谷コースです。残りの3コースは尾根コースです。弥山尾根コースと多宝塔コースは地元では一般登山道として紹介していません。参道の石段を避けた多くの登山者の踏み跡が道になったもので標識はありませんが一本道で迷うことはありません。石段を下るのは膝への負担が大きいためこの尾根コースを下りに使う人が多いようです。

- ① 博打尾コース 紅葉谷ロープウェイ駅に至る車道、30m手前の中村橋に包ヶ浦自然歩道の案内標識があります。ここが入り口です。コースはロープウェイの東の尾根を辿ります。谷沿いに登り古戦場で名高い博打尾に出ます。包ヶ浦歩道への分岐を過ぎ尾根通しに進むと、かや谷ピーク(410m)。下って、かや谷駅、ロープウェイの終点、獅子岩駅を経て下ると紅葉谷コースの分岐に合流。ここまで2時間。ここから30分で弥山頂上。
- ② 紅葉谷コース 紅葉谷の入り口、岩惣旅館から紅葉谷ロープウェイ駅を経てひたすら谷をさかのぼるコース。約1時間で獅子岩ロープウェイ駅からの道に合流します。30分で弥山頂上。石段が続きます。
- ③ 弥山尾根コース 紅葉谷の茶屋から南の尾根を弥山頂上にダイレクトに登るルート。一般道でないで標識は一切ありません。以前、誰かが赤ペンキで岩や木にマークしたため報道され大問題になりました。登山者のマナーが問われました。大きい尾根のためほとんど眺望はありませんが、階段がないのでよく利用されています。弥山頂上のトイレの横にでます。紅葉谷の茶屋から約1時間半。

④ 大聖院コース 2005年9月の台風で登山道が流失し、2008年復活しました。現在も工事は続いています。白糸の滝をへて峠の仁王門跡へ。大聖院から約1時間。仁王門跡から30分で弥山頂上。石段が続きます。

⑤ 多宝塔コース 厳島神社の回廊を出たところに宝物館があります。その山の手が多宝塔があります。ここから尾根を辿ります。標識はありません。道は弥山尾根ほど広くなく部分的に羊歯の葉が踏み跡にかぶさってきますが快適で変化に富んだ眺めのいい尾根コースです。頂上の駒ヶ林は大きな岩の宴会場?といった感じで多くの登山者の憩いの場となっています。お薦めの場所です。頂上西側の岩壁には岩登りのルートがあります。落ちないように気をつけましょう。頂上から南に下ると大元谷コースの分岐、ここから東に下りると仁王門跡へ。ここまで約1時間半。

⑥ 大元谷コース 水族館(工事中)を過ぎ、大元園地から南に谷をつめて上ると駒ヶ林の分岐に約1時間半。途中の風吹岩(風穴)や岩屋大師は必見です。

広島からトレーニングがてら宮島弥山に登る人も多いようです。私の個人的なお薦めは多宝塔コースから駒ヶ林に登り、弥山を経て弥山尾根か博打尾コースから紅葉谷に下山するコースです。広島県山岳連盟には宮島の山を専門に研究している「宮島太郎の会」が加盟しています。岳連HP (<http://www1.ocn.ne.jp/~hgakuren/>) に新ルートの紹介もありますのでご覧になってください。

(まつしま ひろし)